

お知らせ

8月の活動日

日時：8月9日(火) 9時30分 県民の森駐車場集合

テーマ：「夏のキノコと植物の観察会」 講師 中央博物館 吹春俊光氏

内容：夏のキノコ、キノコと共生のクロムヨウラン、ツチアケビなどを観察します。

自然保護2010年5・6月号「キノコがつなぐ生命の輪・・・」をテキストに。

急斜面を上り下りします。しっかりした履物、服装を。詳細はチラシを

活動の記録

7月18日(月) 曇

参加者：新井孝雄・新井通子・伊藤・岩崎・鶴沢・大賀・坂本文雄・坂本彌・福島・真鍋・村野・山口 12名

○相対照度調査

相対照度の測定にはちょうど良い曇り空の下、10時から11時半まで相対照度の調査を行った。

オープンの照度はいつものようにつり橋の上、林内は5班に分かれてモミ混交林(2か所)、千年広場、コナラ更新林、マダケ林、ホテイチク林、榎場(2か所)、ヤマユリ保護柵内、ガマズミの10か所で測定した。

また、巨木林調査区域では、柵内で30点、柵外で9点、さらに、ヒメコマツ植栽地2か所(岬先端、コナラ更新林)についても測定を行った。林内についてはいずれも数%以下、広場で20%前、ヒメコマツ植栽地は岬先端が約40%、コナラ更新林は5%程度であった。詳細は次号で。

○マダケ林整備

ホテイ岬のシカ保護柵内のマダケは、保護柵設置の2006年から立竹ごとに個体識別されている。筍の発生から何年目に地上部が枯れるか、また発生年度の同じ筍でも枯れる年に差があるかなどを見届ける予定である。

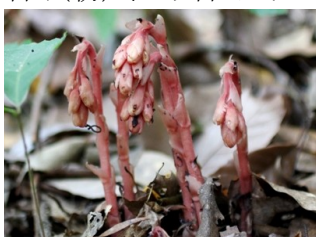
それ以前の古いものについては枯れる前に伐採して竹材として利用することにし、20数本を伐採した。通説では夏季は伐採適期ではないとされるが、夏季伐採のほうが竹材として品質がいい(腐食しにくい)との研究報告もあり、あえて夏季伐採を試みた。水分をたっぷり含んで非常に重かったのが印象的であった。適宜、現地で立てかけて乾燥し、秋には荷物置きテーブル、ブルーシート倉庫などの改修に役立てる予定である。

また、同時に豊英湖近くに散乱していた伐採竹や枯損竹を、増水時に流れ出すことが防ぐため一定の高さまで引き上げて積み直した。おりしも大型台風が接近する中、タイミングのいい整備活動になった。

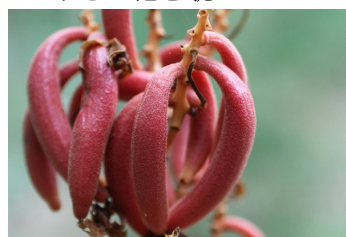
○植物調査

禁断の岬ヒメコマツ植栽地近くに、イチヤクソウ科シャクジョウソウが蕾を覗かせていました。ツチアケビは動物の食害を免れたものの、多くの株が死滅、生き残り結実した株も実が小さく株に元気がない。過乾燥による水分不足ではないかとの意見や、ナラタケの菌糸からの栄養供給が何らかの事情で減ったのではとの意見などありますが原因は不明です。8月の観察会まで何株残るか？

豊英湖の水位低下により広くなりシカの大きな足跡の残るホテイ岬の干潟から見るホテイ岬林縁には、イグサ科イ(初)やユリ科ヒメヤブランが小さい花を覗かせていました。



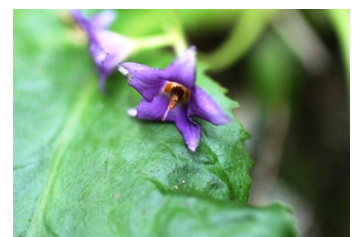
シャクジョウソウの蕾



ツチアケビの実



崖に一輪咲いたヤマユリ



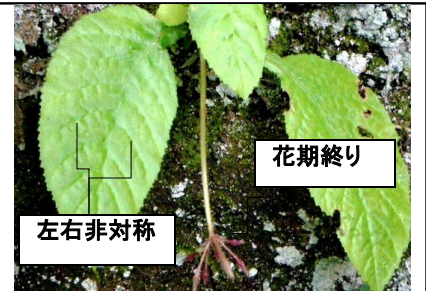
花期を終えるケイワタバコ

この日のハイライトは禁断の岬南崖地に自生するイワタバコ観察、期待を胸に決死の覚悟で崖を下りましたが、今年も花期を過ぎていました。(参考記事●ケイワタバコ参照)続いて禁断の岬先端から南斜面を下り、ヒカゲツツジの崖にヤマユリ;豊英島に唯一輪残った貴重な花を観察、開花前のイズノシマダイモンジソウ群落を観て所在不明となっていた、オシダ科の羊歯植物イノデやキンポウゲ科イヌショウマ(D)を確認し、急斜面をよじ登り、息を切らしながら終礼の始まった広場に4人とも無事帰り着きました。

この日の調査で02年の第一次植生調査以降の累積種数は329種となりました。豊英島植物リストは「千年の森」Sky Driveドキュメント「調査報告・データ」フォルダーで閲覧できます。

●ケイワタバコ：09年5月豊英島で発見され、イワタバコとされていた植物は、7月18日調査の結果、イワタバコ科ケイワタバコに種名を変更します。イワタバコの変種で千葉県では要保護生物(C)指定です。ケイワタバコとした理由は以下の通りです。

- (1) 09年以来全ての葉の画像で主脈左右の支脈が非対称で、ケイワタバコの特徴を持つこと。(参考写真参照)
- (2) 09年以来3年とも海の記念日に開花期を過ぎていて、7~8月の盛夏に開花するとされるイワタバコより開花期が1月早く、ケイワタバコの開花期に符合すること。



(参考)2009年7月20日撮影、花期終えたケイワタバコ、支脈の左右非対称

植物調査 転落に備え完全装備で崖下り	相対照度調査 照度計と無線で一組となって	全員集合 整備活動前は元気だった	竹林整備 熱中症に用心して休み休み

○ 野鳥調査

カワウ2 トビ4+声 コゲラ声 ヒヨドリ声 ウグイス囀り シジュウカラ7+声 メジロ声 カワラヒワ声 ハシボソガラス声 ハシブトガラス2+声 以上10種

吊橋を渡り切る直前、目の前をシジュウカラが次々横切りました。巣立ちしたばかりの若鳥を含む家族群でしたカケスの羽が一枚落ちていました。白青黒の模様の特徴があるので落とし主がすぐにわかります

○ スカイドライブの写真アルバム

掲載写真の原版、会報誌には載せきれない興味深い写真などがスカイドライブには多数アップされています。ぜひご覧ください。またお手持ちの写真をぜひスカイドライブアップしてください。

<https://skydrive.live.com/?cid=dc5100f335db29ae&sa=239774689>

セブン-イレブンみどりの基金
一般財団法人 **セブン-イレブン記念財団**

この活動は 2011 年度一般財団法人セブン-イレブン記念財団の
公募助成を受けています